



One for Children, All for Children

久我山青光学園

学園便り 12月号

校長 宮田 守

令和6年11月29日発行

様々な交流の取り組みについて

副校長 堀越 貴美子

初の視覚障害教育部門と知的障害教育部門合同の久我山青光フェスタから3週間が過ぎ、冬らしい寒さの日が増えてきました。普段は交流することの少ない両部門の子供たちですが、予行練習でお互いの演技を見合ったり、開会式・閉会式では両部門の代表児童・生徒が協力して進行をするなど、本校ならではの交流場面が見られ、お互いを知る良い機会となりました。作品展示も両部門合同で行うことにより、お互いの良さを認め合う場面も見られました。

また本校では、近隣の保育園や小中学校などとの交流も年間を通して行っています。直近では、11月に知的障害教育部門の中学部1年生が世田谷区立烏山中学校の生徒とポッチャやモルックを通して交流を行いました。一緒に活動を楽しむことを通して、自然に会話が弾み、和気あいあいとした雰囲気での交流となりました。また視覚障害教育部門では、世田谷区立武蔵丘小学校の4年生と本校の4年1組の児童が交流を行いました。武蔵丘小学校の児童は、クラスごとに3回に分かれて来校し、お互いに自己紹介をしたり、好きなことを発表したりする形で交流を行いました。アニメやルービックキューブなどの共通の話題では会話がとても弾んでいました。児童の交流後は、本校コーディネーターから点字教科書や拡大読書機など、視覚障害教育部門の教育活動についての紹介を行いました。

コロナ禍で中断していた様々な交流が再開し、新たな交流も増えています。校内での両部門の交流も深めつつ、少しずつ地域との交流を積み重ねながら、共生社会の実現に向けて今後も取り組んでいきます。

烏山中とのポッチャ交流→



視覚障害教育部門 幼稚部 山崎 かおり

11月8日(金)・9日(土)の二日間、「久我山青光フェスタ」が開催されました。今年度は、知的障害教育部門と一緒に行いました。「みんなで光かがやき楽しもう青光フェスタ」というスローガンのもと、精一杯練習してきたことをステージで発表しました。

視覚障害教育部門では、幼稚部「ようちぶのまいにち」、小学部低学年「めっきらもつきらどおんどん」、小学部高学年「世界を旅して」、中学部「大切なもの」を発表しました。どれも工夫されていてとても良かったです。歌もきれいでした。作品展示も合同で行いました。一緒に展示をするとホールいっぱいに並んだ色とりどりの作品でワクワク楽しかったです。ポスターをお互いの校舎に貼り合う交流や、「青ちゃん・光ちゃん」を貼った壁面交流も行いました。充実した楽しいフェスタとなりました。



せいちゃん

こうちゃん

知的障害教育部門 全校行事広報部 佐々木 みどり

両部門合同で行われた今年度の久我山青光フェスタ。リハーサルでは、視覚障害教育部門の舞台発表を見に行きました。「あの子、僕と同じ学年なんだね」「すごいねー」という声の子供たちから。また、自分たちの舞台発表のポスターを視覚障害教育部門棟に貼りに行く活動も行いました。普段同じ学び舎で過ごしていますが、なかなか入ることのない空間に、子供たちの目は輝いていました。作品展示会場も、今年度は初めて知的障害教育部門棟ホールで全校幼児・児童・生徒の作品を展示しました。普段学習で使用している教室が一夜にして様変わり！3階からホールを覗き込んで、「わあー！なにこれ」「すごい！」と声を上げたり、じーっとその場から動かず、見られる子供たちもいました。当日は、多くの保護者の皆様の声援の中、全学年、練習の成果を発揮した舞台発表を行うことができたと思います。閉会式は、中学部生徒全員が集まり、5年振りに体育館で行うことができました！視覚障害教育部門小学部は、Teams を利用し、教室でオンライン配信にて参加しました。当日は、誘導など、PTA役員の皆様方にも、御協力いただきました。どうもありがとうございました。